

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Liebe しんぼり		
○保護者評価実施期間	R8年2月20日		～ R8年3月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	R8年2月13日		～ R8年3月13日
○従業者評価有効回答数		8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員同士で毎日活動プログラムについて話し合い、よりよいものにできるように考えている。	些細な内容でも職員間の共有を意識的に行っている。	相談室を今後は、静養室等の別室として使用していき、スペースの活用をしていきたい。
2	送迎を行っているため、送迎時に保護者様と直接お話しさせていただく機会が多い。	送迎時に保護者様へお話をさせていただいているが、LINE等のSNSでも日頃の様子が分かるようにしている。	保護者様や保育機関、教育機関との連携を強化していき、事業所の質を向上させていく。
3	職員数が多いため、利用者様に対して職員が足りないということがあまりなく、安全に見ることがある。	活動内容を当日ご利用される利用者様に合うように、朝礼等で職員で話し合う。	研修の機会を増やす。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設として、清潔感はあるものの、広さの部分で心配点はある。ほかの部屋を開放するなどして、環境を整えなければならない。	受け入れ可能人数に対して、施設の広さをもう少し大きくするべきだった。	利用者様の年齢に幅があったり、身体を動かすこともあることを考慮していく。
2	開所して間もないため、実施できていないことや、体制が整っていないことがある。	他事業所や名古屋市、その他の機関と連携していったり、職員間でも実施できていないことなどを話し合う機会を作る。	開所の段階である程度の決定事項を決めておく。
3	利用者様に安定的に利用してもらおうこと。	今後は、固定の利用の仕方の説明をしていったり、活動内容の工夫をしていく。	活動内容の工夫や、支援の質の向上、固定利用のご案内をしていく。